

【反映区分】

「A」計画等と同趣旨のもの

「B」計画等の修正を行ったもの

「C」計画等の推進の段階で検討するもの

「D」計画等の修正が困難なもの

「E」計画等に関する感想や質問であるもの

パブリック・コメントの実施結果

番号	反映区分	ご意見の要旨	ご意見への対応
1	B	<p>お役所ことばの使用で堅苦しい表現となっています。気になる表現は、校正のほどよろしく願います。</p> <p>お役所言葉の使用で文章が読みづらくなっています。法律用語以外は、「お役所言葉の使用をしない」をこころがけると読みやすくなるのではと考える。</p> <p>たとえば P2 効果1 計画的かつ効率的に→計画的で効率的に P14 (3) 計画目標年次 平成32年度・・・ 設定し進捗状況の確認や→進み具合 などである。</p> <p>○法律用語との使い分けをされると読みやすくなる と考える。校正できるところはしてほしい。</p> <p>いわゆる「お役所言葉」改善の手引き(佐賀県)、カタカナことばお役所言葉見直しの手引き(富良野市)を参考にされて校正をお願いします。</p>	<p>ご意見のとおり、文面に堅苦しい表現がありますので、文章のつながりなどを考えて、表現を一部修正します。</p>
2	E	<p>P3 家屋の散在する地域における生活排水対策に個別施策は有効な手段であると考えます。中山間地など個別処理施策は、下水道整備に比べコスト減と考えられるかどうか</p>	<p>ご意見のとおり、家屋が散在する地域については、個別処理対策が有効と考えられところもありますが、各地域の整備方法については、各市町で、コスト比較を行って検討されており、今回の構想でも見直しを行っている地域もあります。</p>
3	A	<p>県内の生活排水処理施設の老朽化に伴い、施設の改築、更新は大きな課題である。財政難の市町にとっては悩むところである。地方債の償還と施設維持管理問題が重なり、さらに債務を負うことは言うまでもない。今後、下水道整備計画の見直しが必要な課題になるのではないのか。</p>	<p>ご意見のとおり、改築更新、維持管理については、今後大きな課題であります。今回の構想で、短期目標の一つとして「ストック・マネジメント計画策定の推進」を掲げており、市町の計画的な策定を推進していきます。</p>

4	C	<p>下水道等の汚泥有効利用については、再生利用が今後課題。地域のバイオマスに合わせた資源の活用の推進をお願いしたい。</p>	<p>汚泥の有効利用として民間委託により堆肥化等の再利用がなされているところです。</p> <p>地域バイオマスの活用については、検討されている市町もありますので、費用と効果について今後検討していく必要があると考えております。</p>
5	A	<p>計画目標年次に合わせたベンチマークと目標値を設定してほしい。</p> <p>PDC サイクルチェックを怠らず施策実行をしてほしい。</p>	<p>ご意見については、21ページに短期目標（H32年）、中期目標（H37年）を設定しております。</p> <p>また、この目標に対する進捗管理を毎年行いながら、達成に向けた取り組みを推進していきます。</p>
6	E	<p>将来フレーム表 4-3 の見積もりは甘い気がする。人口問題は、目標よりもっと厳しくなると思うがその点はどうか？</p>	<p>ご意見の将来フレーム表 4-3 については、すべての整備が完了した場合の各整備手法ごと（下水道、集落排水、浄化槽）の割合を算出することを目的として作成しております。</p> <p>また、人口については、「国立社会人保障・人口問題研究所」の人口を参考としながら、各市町で算出を行っております。</p>

7	E	<p>■県内の普及格差解消に向けての施設整備の施策をのぞむ。中山間地等の下水道整備事業の見直しは重要な問題と考える。</p> <p>たとえば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家屋間の距離の長さで接続配水管も長くなる。本管への接続に関しての費用負担がかさむ。(具体的には整備するに当たりの費用を借金しローンを借りて支払う人もいる。また、高齢者となり介護が必要になった場合のトイレ改修時の下水道整備もしくは個別浄化槽の設置にかかる費用捻出は厳しい。改修費用にローンを残して死去した場合、負の相続が子に発生する。) ・老朽化しているアパートの家主が、下水道整備の費用捻出が難しいので、建物の建て替えもせず、下水道の整備もせず、汲み取り式のトイレのまま現状維持をしている所もある。 ・高齢化が進み、少子化が進むなどを包含した人口減少問題を考えると、使用料の収入、減少も当然問題課題となる。 ・収入減少、年金暮らしなどでの低い収入水準世帯の増加により家庭での接続費用の捻出が厳しくなる。 <p>上記については、将来の話ではなく、今現実問題として起こっている問題である。住民の負担が大きくなると整備事業は進まない。下水道整備に比べると、個別処理浄化槽はコスト的にみて住民の負担も軽い。また、地震などの災害にも強いということから将来の目標と言わず、現実の問題と捉え、短期スパンでの見直しをお願いしたい。</p>	<p>ご意見番号2でも対応として記載させていただきましたが、各市町で、コスト比較を行って検討されており、今回の構想でも見直しを行っている地域もあります。また、5年後には今回の構想の内容点検を行うこととしております。</p>
8	E	<p>素晴らしい水環境に恵まれた佐賀県。水環境の保全、地方財政の健全化のために国の方にも下水道と同率の助成率で浄化槽の整備促進の意見をあげてほしいと考える。</p>	<p>ご意見については、国の方に毎年提案しておりますので、今後も継続して行っています。</p>
9	C	<p>進行管理の部分であるが、PDCサイクルをもとに見直し施策を進めてほしい。</p>	<p>ご意見番号5と同様に、目標に対する進捗管理を毎年行いながら、達成に向けた取り組みを推進していきます。</p>